

令和4年度前期生徒総会 激励の言葉 (R4. 4. 27)

校長 高瀬 知郎

雄中生の皆さん、こんにちは。

生徒総会への参加、おつかれさまでした。昨年度の前期生徒総会は、新型コロナの感染状況が深刻な状態であったため、ランチルームから教室へのリモート配信による参加でしたが、今日は全校生徒が一堂に会して総会を盛大に実施できました。1年生にとっては初めての生徒総会。生徒会の一員として積極的に参加できたでしょうか。

さて、佐伯生徒会長をはじめ令和3年度後期生徒会役員の皆さん、昨年度半年間の活動、本当にお疲れ様でした。スローガン「Memory」を掲げ、朝のあいさつ運動や榎町駅清掃等、身の回りの人・物・事への感謝を言葉や行動に表す活動を通して、全校のみんなが心を深めることができました。その集大成が感動的な「卒業を祝う会」であり、文字通り「Memory=全校が共有できる思い出」として実を結んだのだと思います。今年度4月からの学校全体の落ち着きも授業への真剣な取り組みも、昨年度のあの取組があってこそその成果であるとは私は考えています。

そして、いよいよ令和4年度前期生徒会がスタートしました。今期のスローガンは「疾風迅雷」。学校や生徒のためによいと思ったことは、躊躇せずすぐに実行するということですね。その具体例が、4月から素早く始めた「ユニセフ緊急募金」。スピード感があって素敵でした。今、世の中で困っている人のために、決して見て見ぬふりをしない。正しいと思ったことは、ためらわず、すぐに行動に移す。中学生ならではの清らかでみずみずしい正義感が感じられます。私の好きな雄中生は、やはりこうあるべきです。身の回りのことだけでなく、世界のことや人類全体のこと。いろんなことにいつも問題意識を持ち、「おかしいぞ」とか「変だな」とか「間違ってるんじゃないか」と思ったこと・感じたことを、どんどん声に出していきましょう。そしてみんなで話し合っ、今、自分たちにできることを考え、世の中や世界に働きかけていく。一人の力は小さくても、650人が力を合わせれば、大きなパワーになります。そうやって世の中を明るく平和な社会へと変えていく。それが生徒会なのです。650人の雄中生が世界を変える。そんな大きな志をもって、前期生徒会をスタートさせましょう。